

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、紙面の都合上、一人四項目まで掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

九月三十日(金)



たかはし ひろし 議員 (民主党)

国家公務員制度改革法案による  
県職員給与  
国民皆で選ぶ首相公選制  
再生可能エネルギーの推進  
バス・タクシー、バスストップによる  
圏央道、アクアラインの活用



やまべ かつお 議員 (自民党)

災害に対する対応と拠点病院の  
整備  
大利根博物館の活性化

十月三日(月)



きした けいじ 議員 (自民党)

県防災行政  
建設業  
農業振興  
県有観光施設



にしお けんいち 議員 (無所属の会)

職員の給与  
医師不足対策  
防災対策  
公立学校の土曜授業再開



なかざわ ひろふみ 議員 (自民党)

行財政改革  
放射能問題と防災教育  
教育行政  
警察行政



うすい しゅんいち 議員 (自民党)

東日本大震災の対応と今後の震  
災対策  
ひきこもり対策  
企業庁事業



きむら てつや 議員 (自民党)

総合計画の政策評価  
ひきこもり対策  
道路整備  
高等学校の道徳教育

十月四日(火)



たきた としゆき 議員 (自民党)

千葉ニュータウン事業  
東京電力福島第一原発事故によ  
る放射能問題の対応  
震災復旧・復興と危機管理  
印旛沼・手賀沼土地改良事業



いとう まさひろ 議員 (自民党)

印旛沼及びその周辺における水  
質浄化及び環境問題  
災害に強いまちづくり  
公用車における低公害車普及



おなか のぶとし 議員 (自民党)

観光振興  
商業振興  
水産振興  
道路問題



ほりえ はつ 議員 (民主党)

防災計画の見直し  
児童福祉とDV対策  
メンタルヘルス  
三番瀬関連



おおまつ しげかず 議員 (自民党)

防災問題  
農業問題  
市町村への財政支援  
道路問題

十月五日(水)



さの あきら 議員 (自民党)

防災対策  
県有施設の再構築  
空港問題  
道路問題



はやし けんじ 議員 (自民党)

空港関連  
自然エネルギー  
観光振興

教職員のメンタルヘルス



いせ ひろふみ 議員 (民主党)

がんの在宅緩和ケア  
回復期リハビリテーション  
放射性物質対策  
県道整備



やまもと よしかず 議員 (自民党)

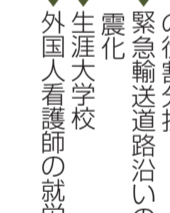
東京電力福島第一原子力発電所

の事故により放出された放射能



ほんせい ひでお 議員 (自民党)

知事就任後の自己評価・副知事  
の役割分担  
緊急輸送道路沿いの建築物の耐  
震化  
生涯大学校  
外国人看護師の就労支援



はやし けんじ 議員 (自民党)

新しく選出された  
県議会議員

(七月二十四日補欠選挙)



いわの けんじ 議員 (民主党)

※九月二十一日の本会議に  
おいて、農林水産常任委員  
会委員に選任されました。

千葉県議会ホームページ インターネット中継

本会議の様子をインターネットで生中継、録画中継の公開をしています。(※録画中継は本会議等終了後、2日程度(土・日・祝日を除く)で、ご覧いただけます。)

千葉県議会ホームページからアクセスできますので、ぜひご利用ください。

http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html

9月定例県議会 知事あいさつ

平成23年9月2日、野田新政権が誕生いたしました。千葉県選出初の、そして本県議会議員出身の総理大臣の誕生は、大変喜ばしいことです。

今、わが国は、震災復興や原発事故の収束、財政再建など難しい課題が山積しており、野田総理大臣には、これらの困難を着実に乗り越え、国民から信頼される政治に取り組んでいただきたいと思っております。また、野田総理大臣は本県の状況を熟知されており、本県が抱える課題の解決に向けて、積極的に取り組んでいただけることを期待しています。

次に、県民栄誉賞の授与について申し上げます。  
女子ワールドカップサッカーで世界一に輝いた「なでしこジャパン」のメンバー、ジェフユナイテッド市原・千葉レディース所属の丸山桂里奈選手と、大網白里町出身の宮間あや選手に、県民栄誉賞を授与いたしました。両選手がワールドカップ優勝に大いに貢献されたことは県民の誇りであり、県民をはじめ全国の皆さんに勇気と希望を与えてくれました。県民の代表として敬意を表し、今後、オリンピックの舞台での活躍を期待しています。

「千葉県震災復旧及び復興に係る指針」原案について申し上げます。  
県は、市町村や国の考え方を踏まえ、復旧・復興に向けた指針の原案を策定いたしました。県民の減災意識を高め、復興の基盤となる県経済を活性化させ、多様な災害に備えたまちづくりを進めることで、足腰の強い千葉県づくりを目指すものです。

東日本大震災から半年が経過し、県内被災地を視察した成果を生かして、県議会の意見や、国の動向等を踏まえながら「指針」として取りまとめたと考えています。

続いて、福島第一原子力発電所事故への対処について申し上げます。

県では、これまで放射能物質の監視・検査体制の強化に取り組んできました。今回の事故が引き起こした諸課題の解決には、まず国が責任を持って対応すべきと考えますが、県としても、県民の安全・安心を守るため、迅速に対応していく必要があります。このため、「東京電力福島第一原子力発電所事故に係る対応方針」に沿って、県を挙げて県民の安全を確保し、不安を取り除いていきたいと考えております。

次に、地方分権改革一括法への対応について申し上げます。  
平成23年8月26日に第2次一括法が国会で成立しました。現在、県では、平成23年4月に成立した第1次一括法とあわせ、自治体の施設・公物の設置管理基準の見直しに係る条例の整備や、関係する県の権限を市町村へ移譲するため



の作業に取り組んでおり、着実に地方分権の歩みを進めていきます。

次に、ハツ場ダムについてご報告申し上げます。  
2年間にわたり本体工事がストップしているハツ場ダム建設事業の検討会議に出席してきました。国土交通省から検証結果案が示され、今後、パブリックコメントや有識者会議などを経て、国としての対応方針が示されると聞いています。

ハツ場ダムは、本県にとって必要な施設であることから、一刻も早く検証の結論を得て、早期にダム本体工事に着手していただきたいと考えています。

次に、成田空港を拠点とした国内路線の拡大について申し上げます。

発着枠30万回化の合意を受けて、国内線の新規就航の動きが活発化しています。成田空港がより多くの国内の地方空港と結ばれ、海外に向かう拠点となることは、日本の国際競争力の強化になるとともに、県民の利便性も向上します。  
平成23年10月30日から、スカイマーク社が順次旭川、札幌、那覇、福岡、仙台の国内5都市に就航します。私も旭川線の第一便に搭乗し、北海道の皆様千葉県と成田空港及び周辺市町をPRしてきます。

最後に、「ちばアクアラインマラソン」について申し上げます。

平成24年10月21日に開催する「ちばアクアラインマラソン」は、海の上を走り、東京湾が一望できる大変魅力的な大会であり、多くの方に参加していただきたいと考えています。本県の魅力を思う存分発揮し、夢を与え、元気が出る大会として成功させるため準備に取り組んでいきます。

その他、平成23年度9月補正予算など、議案の概要説明がありました。